

## 有床診療所の勤務環境に関するアンケート調査

厚生労働省委託事業「医療勤務環境改善マネジメントシステムに基づく医療機関の取組に対する支援の充実を図るための調査・研究」検討委員会  
委員長 酒井 一博（公益財団法人大原記念労働科学研究所）

拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、平成 26 年の医療法改正により、各医療機関では医療従事者の勤務環境の改善に取り組むことが努力義務とされました。厚生労働省では、医療従事者の皆様が健康で安心して働けるよう、その勤務環境の改善に取り組む医療機関を支援しています。

その一環として、厚生労働省委託事業における当委員会では、病院を対象に勤務環境改善の取組状況や勤務実態のアンケート調査を実施しています。医療機関の勤務環境等に関して状況を把握し、医療従事者の勤務環境改善の更なる推進方策等の検討に資するため、平成 29 年度からすべての有床診療所も対象にアンケート調査を実施しています。本アンケート調査は、今後の医療勤務環境改善の施策の方向性の検討等に活用される大変重要なものです。また、本調査の結果を各都道府県の医療勤務環境改善支援センターでより具体的に活用できるようにする等の目的から、識別番号で診療所を把握させていただきます。

なお、回答内容については労働基準監督署が行う監督指導等に使用されることは一切ありません。

ついては、お忙しいところ誠に恐れ入りますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

敬具

### 《記入にあたってのお願い》

1. 院長または貴診療所の勤務環境改善の取組状況等について把握している事務部門の担当者の方が記入してください。
2. 回答にあたっては、該当する番号を○で囲むもの、具体的に記入するものがありますので、質問文に従ってご回答ください。
3. ご記入が終わった調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、  
**9月20日（金）までに** 郵便ポストに投函してください。

### ■本調査に関する問合せ先

〒105-0011 東京都港区芝公園 3-1-22 日本能率協会ビル 5F  
株式会社日本能率協会総合研究所 福祉・医療・労働政策研究部  
担当：笠原・中村  
TEL（フリーダイヤル）：0120-304-603（平日 10：00～17：00）  
FAX：03-3432-1837

XXXXXXXXXX

**※稼働病床が0床の場合、回答いただく必要はありません。**

**※入院を伴わないベッド利用は稼働病床に含みません。**

**問 1. 開設主体を教えてください。(1つに○)**

1. 国等 (厚生労働省、独立行政法人国立病院機構、国立大学法人、独立行政法人労働者健康安全機構、国立高度専門医療研究センター、独立行政法人地域医療機能推進機構、その他(国の機関))
2. 地方公共団体等 (都道府県、市町村、地方独立行政法人)
3. 公的医療機関 (日赤、済生会、北海道社会事業協会、厚生連、国民健康保険団体連合会)
4. 社会保険関係団体 (健康保険組合及びその連合会、共済組合及びその連合会、国民健康保険組合)
5. 医療法人
6. 個人
7. その他 (公益法人、私立学校法人、社会福祉法人、医療生協、会社、その他の法人)

**問 2. 稼働病床数と1日平均入院患者数(小数点第1位まで)を教えてください。**

(数字を記入)

〈平成30年度〉	稼働病床数	<input type="text"/>	<input type="text"/>	床		
	1日平均入院患者数	<input type="text"/>	<input type="text"/>	.	<input type="text"/>	人
〈平成29年6月〉	稼働病床数	<input type="text"/>	<input type="text"/>	床		
	1日平均入院患者数	<input type="text"/>	<input type="text"/>	.	<input type="text"/>	人

・稼働病床数 =

患者を入院させるために準備していた病床数－当該期間に1度も入院患者を収容しなかった病床数

・1日平均入院患者数 = 入院患者延数/当該期間日数

**問 3. 医療機能を教えてください。(1つに○)**

1. 高度急性期
2. 急性期
3. 回復期
4. 慢性期

医療機能は、病床機能報告の考えと同様です。

高度急性期：急性期の患者に対し、状態の早期安定化に向けて、診療密度が特に高い医療を提供する機能

急性期：急性期の患者に対し、状態の早期安定化に向けて、医療を提供する機能

回復期：急性期を経過した患者への在宅復帰に向けた医療やリハビリテーションを提供する機能等

慢性期：長期にわたり療養が必要な患者を入院させる機能等

問 4. 標榜している診療科目を教えてください。(該当するものすべてに○)

- |                |            |                 |             |                |
|----------------|------------|-----------------|-------------|----------------|
| 1. 内科          | 9. 皮膚科     | 17. 呼吸器外科       | 25. 整形外科    | 33. 婦人科        |
| 2. 呼吸器内科       | 10. アレルギー科 | 18. 心臓血管外科      | 26. 形成外科    | 34. リハビリテーション科 |
| 3. 循環器内科       | 11. リウマチ科  | 19. 乳腺外科        | 27. 美容外科    | 35. 放射線科       |
| 4. 消化器内科(胃腸内科) | 12. 感染症内科  | 20. 気管食道外科      | 28. 眼科      | 36. 麻酔科        |
| 5. 腎臓内科        | 13. 小児科    | 21. 消化器外科(胃腸外科) | 29. 耳鼻いんこう科 | 37. 病理診断科      |
| 6. 神経内科        | 14. 精神科    | 22. 泌尿器科        | 30. 小児外科    | 38. 臨床検査科      |
| 7. 糖尿病内科(代謝内科) | 15. 心療内科   | 23. 肛門外科        | 31. 産婦人科    | 39. 救急科        |
| 8. 血液内科        | 16. 外科     | 24. 脳神経外科       | 32. 産科      | 40. その他        |

問 5. 令和元年 6 月 30 日現在の職員について伺います。

※以下の質問におけるフルタイム勤務正規職員に院長は含まれません。

副院長など肩書きがある場合でも管理職ではない場合は、フルタイム勤務正規職員に含みます。  
該当者が院長のみの場合は、医師の回答欄は空白のままです。

①職員数(正規職員・非正規職員を含む(常勤換算ではありません))

② ①のうち、フルタイム勤務の正規職員数(※1)

③ ①のうち、短時間勤務の正規職員数(※2)

を教えてください。(産休・育休・休職など稼働していない職員は除く)(数字を記入)

	①職員数(正規職員・非正規職員を含む)	② ①のうち、フルタイム勤務の正規職員数	③ ①のうち、短時間勤務の正規職員数
全体	( ) 人	( ) 人	( ) 人
うち、医師数	( ) 人	( ) 人	( ) 人
うち、看護職(※3)数	( ) 人	( ) 人	( ) 人

※1:フルタイム勤務とは、就業規則等で定められた週所定労働時間数(変形労働時間制の場合は、単位期間における週当たりの平均労働時間数)での勤務をいう(育児等による短時間勤務は除く)。

また、正規職員とは、雇用期間の定めがないものをいう(パート労働者等は除く)。

※2:短時間勤務とは、フルタイム勤務と比較して、短い週所定労働時間での勤務をいう。

※3:本調査での看護職とは、保健師、助産師、看護師、准看護師を指し、看護助手は含みません。

問 6. 平成 30 年度の 1 年間に夜勤務(三交代の準夜勤・深夜勤・二交代の夜勤)を行わない期間が1か月以上あった看護職員数(※4)を教えてください。(数字を記入)

( ) 人

※4:正規職員に限定し、パート労働者は除きます。また、産休者も除きます。1ヶ月間に少数回でも夜勤を行っている、あるいは当直・オンコールを行っている看護職員は含みません。また、同一の看護職員が平成30年度の複数の期間に分けて、夜間勤務を行わなかった場合は1名として計算してください。

問 7. 平成 30 年度における正規看護職の離職率(※5)を教えてください。(数字を記入)

離職率   .  %

※5:離職率=平成30年度退職者数÷平成30年度の平均職員数×100

ただし、平均職員数=(年度初めの在籍職員数+年度末の在籍職員数)÷2

**以下、フルタイム勤務の正規職員について伺います**

※院長は含みません。フルタイム勤務の医師が院長のみである場合は、医師の解答欄は空白のままです。

**問 8. 就業規則等で定められたフルタイム勤務の医師及び看護職の週所定労働時間数（変形労働時間制の場合は、単位期間における週当たりの平均労働時間数）を教えてください。（令和元年6月時点）（数字を記入）**

〈医師〉 週   時間   分

〈看護職〉 週   時間   分

※〈夜勤専従看護職〉 週   時間   分

※夜勤専従看護職がいる場合のみ、いない場合は空白で結構です。

**問 9. 労働時間の管理方法を教えてください。（該当するものすべてに○）**

1. タイムレコーダー・タイムカード
2. ICカード
3. 電子カルテなどのログ
4. 出勤簿・管理簿
5. 自己申告
6. その他（）
7. 労働時間を管理していない

**問 10. 時間外労働の把握の方法について教えてください。（1つに○）**

1. 自己申告
2. 上司からの命令（事前または事後）で申告
3. その他（）

**問 11. フルタイム勤務正規職員の医師及び看護職の月平均時間外労働時間数を教えてください。（数字を記入）**

〈平成30年度〉 医師 月平均    時間   分

看護職 月平均    時間   分

〈令和元年6月〉 医師 月平均    時間   分

看護職 月平均    時間   分

**問 12. フルタイム勤務正規職員の時間外労働手当について伺います。何に基づき、時間外労働手当を支払っていますか。(該当するものすべてに○)**

1. タイムレコーダー・タイムカード・IC カード・電子カルテ等のログの通りに支払っている(制限なし)
2. 申告時間通りに支払っている(制限なし)
3. 上限時間が決められている職員に対しては、それを上回る時間については支払っていない
4. 上司が時間外労働を認めたとき以外は支払っていない
5. 年俸制の職員の時間外労働手当は年俸に含めている
6. 時間外労働手当は支払っていない
7. その他 ( )

**問 13. フルタイム勤務正規職員の医師及び看護職の令和元年6月の勤務割(※6)における最長連続勤務時間(当直は含まない)とそのうちの休憩時間を教えてください。(数字を記入)**

※6: 勤務割・・・シフト表上や勤務計画表上のこと

〈医師〉	最長	<input type="text"/>	<input type="text"/>	時間	<input type="text"/>	<input type="text"/>	分
	うち、休憩	<input type="text"/>	<input type="text"/>	時間	<input type="text"/>	<input type="text"/>	分
〈看護職〉	最長	<input type="text"/>	<input type="text"/>	時間	<input type="text"/>	<input type="text"/>	分
	うち、休憩	<input type="text"/>	<input type="text"/>	時間	<input type="text"/>	<input type="text"/>	分

〈看護師例〉最長拘束時間の例: 勤務割上16時間



**問 14. フルタイム勤務正規職員の医師及び看護職の令和元年6月の勤務割における当日の勤務終了から次の勤務開始までの間隔が最も短い時間を教えてください。(数字を記入)**

〈医師〉	最短	<input type="text"/>	<input type="text"/>	時間	<input type="text"/>	<input type="text"/>	分
〈看護職〉	最短	<input type="text"/>	<input type="text"/>	時間	<input type="text"/>	<input type="text"/>	分

〈看護師例〉最短の例: 連続夜勤 8時間



問 15. フルタイム勤務正規職員の医師の令和元年6月の当直時の最長連続勤務時間（当直前後の勤務時間を含む）とそのうちの休憩時間を教えてください。（数字を記入）

〈医師〉 最長 

--	--

 時間 

--	--

 分  
うち、休憩 

--	--

 時間 

--	--

 分

問 16. 職員の兼業を把握していますか。（1つに○）

1. 把握している
2. 把握していない
3. 兼業を禁止している

**休日・休暇について伺います**

※院長は含みません。フルタイム勤務の医師が院長のみである場合は、医師の解答欄は空白のまま結構です。

問 17. 平成30年度の年間所定休日日数（※7）を教えてください。（数字を記入）

年 

--	--	--

 日

※7：就業規則に定める職員の所定の休日の合計（年次有給休暇や慶弔休暇は含めない）

問 18. フルタイム勤務正規職員の医師及び看護職の、平成30年度の年次有給休暇取得率を教えてください。（数字を記入）

〈医師〉 

--

 . 

--

 %

〈看護職〉 

--

 . 

--

 %

※年次有給休暇取得率(%) = 有給休暇取得日数/各人の付与日数（昨年度からの繰り越し分は含めない）×100

**短時間勤務の当直・夜勤について伺います**

問 19. 正規職員である短時間勤務の医師も当直（宿直・日直）を行っていますか。（1つに○）

1. 当直（宿直・日直）を行っている
2. 宿直は行っていないが、日直は行っている
3. 日直は行っていないが、宿直は行っている
4. 当直（宿直・日直）は行っていない
5. 正規職員である短時間勤務の医師はいない

問 20. 正規職員である短時間勤務の看護職も夜勤を行っていますか。（1つに○）

1. 行っている
2. 行っていない
3. 正規職員である短時間勤務の看護職はいない

**医療従事者の勤務環境改善の取組について伺います**

**問 21. 医療従事者の勤務環境改善に関する現状認識として、当てはまるものを教えてください。(1つに○)**

- |               |             |                 |             |
|---------------|-------------|-----------------|-------------|
| 1. 重要な課題である   | } ⇒問 21-1 へ | 3. あまり重要な課題ではない | } ⇒問 21-2 へ |
| 2. やや重要な課題である |             | 4. 重要な課題ではない    |             |

**問 21-1. 問 21 で 1 又は 2 と回答した診療所にお尋ねします。問 21 について、そのように認識する理由を教えてください。(該当するものすべてに○)**

1. 質の高い医療の提供、質の向上のため
2. 人材の確保・定着のため
3. 職員の業務負担軽減のため
4. 職員の健康やメンタルヘルスの維持・向上のため
5. 職員のワークライフバランス確保のため
6. 当然の義務であるため
7. その他 ( )

**問 21-2. 問 21 で 3 又は 4 と回答した診療所にお尋ねします。問 21 について、そのように認識する理由を教えてください。(該当するものすべてに○)**

1. 現状で問題がないため
2. やや問題はあるが、喫緊の課題ではないため
3. 既に対策に取り組んでいるため
4. その他 ( )

**問 22. 医療従事者の勤務環境改善に関する取組状況について教えてください。(1つに○)**

1. 職種を問わず取り組んでいる  
→取組の継続年数を教えてください  
1. 1年未満      2. 1年～3年未満      3. 3年～5年未満      4. 5年以上
  2. 一部の職種で取り組んでいる(最も早く取り組んだ職種: )  
→取組の継続年数を教えてください  
1. 1年未満      2. 1年～3年未満      3. 3年～5年未満      4. 5年以上
  3. あまり取り組んでいない
  4. 全く取り組んでいない
- } ⇒問 24

**問 23. 問 22 で 1「職種を問わず取り組んでいる」又は 2「一部の職種で取り組んでいる」と回答した病院にお尋ねします。(3 又は 4 と回答した人は問 24 へ) 医療従事者の勤務環境改善の具体的な取組態様について教えてください。**

**(各項目について該当するもの 1 つに○)**

(下記の①～④は、「医療分野の『雇用の質』向上のための勤務環境改善マネジメントシステム導入の手引き(改訂版)」(平成30年3月)に記載している、マネジメントシステム導入のステップに対応しています。)

	センターを活用している 取り組んでおり、支援	センターを活用していない 取り組んでいるが、支援	取り組んでいない
①勤務環境改善の取組方針を表明して職員に周知している	1	2	3
②経営トップが主体的に関与して組織的に取り組んでいる	1	2	3
③勤務環境の現状の把握・分析を行っている	1	2	3
④勤務環境改善に向けた達成目標を設定している	1	2	3

本調査における支援センターとは、「医療勤務環境改善支援センター」のことです。

「医療勤務環境改善支援センター」は、平成26年に改正された医療法の規定に基づき、医療従事者の勤務環境改善に向けた医療機関の取組を総合的・専門的に支援するための機関で、各都道府県に設置されています。

**問 23-1. 問 23 の項目 4 に取り組んでいる病院にお尋ねします。どのような目標を設定していますか。(該当するものすべてに○)**

1. 時間外労働時間の削減
2. 業務の負担軽減・効率化
3. 休暇取得率の上昇
4. 離職率の低下
5. 職員満足度の向上
6. その他 ( )



問 24. 問 22 で3「あまり取り組んでいない」又は4「全く取り組んでいない」と回答した病院にお尋ねします。医療従事者の勤務環境改善にあまり又は全く取り組んでいない理由を教えてください。(該当するものすべてに○)

1. 人員や時間に余裕がないため
2. 費用がかかるため
3. どのように取り組めばよいのかわからないため
4. これから取組を始める段階であるため
5. 現在の勤務環境が整っており、取り組む必要がないため
6. その他 ( )
7. 特に理由はない

問 25. 以下に挙げる医療従事者の勤務環境改善に関する取組のうち、取り組んでいるもの、そのうち効果が高いと評価できる取組を教えてください。(該当するものすべてに○)

(下記の選択肢は、「医療分野の『雇用の質』向上のための勤務環境改善マネジメントシステム導入の手引き(改訂版)」(平成30年3月)に記載している、医療機関の勤務環境の現状把握及び課題抽出のための確認項目を参考に作成しています。)

取 組	取 り 組 ん で	効 果 が 高 い
1. 正職員について多様な勤務形態(短時間勤務、短日勤務、交代制勤務、フレックスタイム制など)を活用している	1	2
2. 年次有給休暇をはじめとする休暇の取得を促進している	1	2
3. 勤務間インターバル制度(※8)を導入している	1	2
4. 電子カルテやデジタル端末等のICT、IOT技術を活用した業務効率化・省力化に取り組んでいる	1	2
5. 法定以上の子育て・介護中の職員に対する夜勤・時間外労働免除(男性職員・女性職員ともに対象)を実施している	1	2

3. で「取り組んでいる」と回答した方は、インターバルの時間を記入してください。  
⇒ ( ) 時間

※8：前日の終業時刻と翌日の始業時刻の間に一定時間以上の休息を確保する制度

4. で「取り組んでいる」と回答した方は、導入したもののなかで最も効果が高いと考えられる技術を教えてください。  
( )



取 組	取 り 組 ん で い る	効 果 が 高 い
17. 復職者が利用できる短時間正職員制度や有期契約職員制度が導入されている	1	2
18. 定年退職者の再雇用に積極的に取り組んでいる	1	2
19. 医師、看護師に対し、賠償保険に加入するよう積極的に働きかけている	1	2
20. 通常診療時間外の病状説明は避けるなど患者家族に働き方改革の理解を求めている	1	2

**問 26. 貴診療所における課題として考えられるものは何ですか。(該当するものすべてに○)**

1. 職員残業時間の改善
2. 労務管理
3. 職員のモチベーションの維持
4. 人材確保 特に不足している職種をご記入ください→ ( )
5. 事業継承
6. 経営(収支改善)
7. 医療施設や介護施設との連携
8. 病床の不足
9. 施設の老朽化
10. その他 ( )

**「いきサポ」について伺います**

**問 27. あなたは、「いきサポ」(※9)をご存じでしたか。(1つに○)**

1. 知っており、閲覧したことがある ⇒問 27-1 へ
2. 知っているが、閲覧したことはない ⇒問 27-4 へ
3. この調査票で知った(今まで知らなかった) ⇒問 28 へ

※9:「いきサポ」とは、医療機関の管理者などを対象に、国や都道府県などによる施策や事業などの紹介、医療機関の取組事例の紹介など、医療従事者の勤務環境の改善に役立つ情報を提供するサイト「いきいき働く医療機関サポートWeb」(いきサポ)のことです。

**問 27-1. 「いきサポ」をご覧になったご感想をお聞かせください。(1つに○)**

- |             |                |             |
|-------------|----------------|-------------|
| 1. 非常に参考になる | 3. あまり参考にならない  | } ⇒問 27-3 へ |
| 2. 参考になる    | 4. まったく参考にならない |             |

問 27-2. 「いきサポ」で参考になるページ・情報を教えてください。

(該当するものすべてに○)

1. 「検索ワードランキング」
2. 「『参考にされた』取組事例・提案」
3. 「取組事例・提案の紹介」
4. 「資料のダウンロード」
5. 「FAQ ～よくある問合せ～」
6. 「役に立つ情報」の「国の施策情報」
7. 「役に立つ情報」の「各種通知・審議会等」
8. 「役に立つ情報」の「関係団体による取組」
9. 「役に立つ情報」の「イベント開催案内および開催報告について」
10. 「役に立つ情報」の「各都道府県における取組」
11. 「役に立つ情報」の「各都道府県の医療勤務環境改善支援センター」
12. その他 ( )

問 27-3. 「いきサポ」で充実してほしい情報があれば教えてください。

問 27-4. あなたは、「いきサポ」を何で知りましたか。(該当するものすべてに○)

1. 都道府県庁又は医療勤務環境改善支援センターの紹介
2. 都道府県労働局からの紹介
3. 厚生労働省のホームページを見て
4. 医療関係の新聞・雑誌、ウェブサイト、メールマガジンなどを見て
5. 同僚・知人などからの口コミ
6. その他 ( )

問 28. 「いきサポ」では、医療機関の勤務環境改善の取組を掲載することにより、勤務環境改善に取り組んでいることを広報することができます。貴診療所の取組で勤務環境改善の効果が高いものを「いきサポ」でご紹介してもよろしいでしょうか。(1つに○)

1. 紹介してもよい
  2. 紹介することを検討したい
  3. 紹介したくない

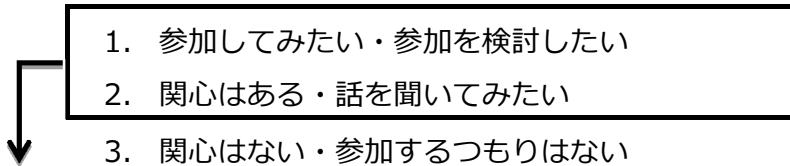


P.13 にご連絡先をご記入ください

### 勤務環境改善モデル事業への参加のご案内

問 29. この厚生労働省委託事業では、医療機関を対象として勤務環境改善に取り組むモデル事業を実施します。モデル事業の概要は p. 15とおりです。

「医療勤務環境改善マネジメントシステム」を活用して勤務環境改善に取り組んでみたい、あるいはこれまでの取組を充実・強化したいとお考えの医療機関の皆様、この機会にこのモデル事業に参加してみませんか。(1つに○)

- 
1. 参加してみたい・参加を検討したい
  2. 関心はある・話を聞いてみたい
  3. 関心はない・参加するつもりはない

問28. 29. にて1又は2を選択された場合は、ご連絡先を教えてください。本事業受託者(株)日本能率協会総合研究所)担当者より、ご連絡させていただきます。なお、いただいた個人情報については、当事業に関するご連絡以外には使用いたしません。

医療機関名	
ご役職	
お名前	
お電話番号	
メールアドレス	

### 医療勤務環境改善支援センターについて伺います

問 30. あなたは、「医療勤務環境改善支援センター」(※10)について、ご存じですか。  
(1つに○)

1. すでに利用したことがある
2. 利用したことはないが、活動内容を知っている
3. 利用したことはなく、活動内容も知らないが、名前は聞いたことがある
4. 知らない

※10:「医療勤務環境改善支援センター」は、平成26年に改正された医療法の規定に基づき、医療従事者の勤務環境改善に向けた医療機関の取組を総合的・専門的に支援するための機関で、各都道府県に設置されています。

問 31. 今後の「医療勤務環境改善支援センター」の利用についての意向を教えてください。

(1つに○)

1. 利用したい
2. 利用することを検討したい
3. 今のところ利用は考えていない

問 32. 問 31 について、そう考える理由を教えてください。

問 33. 平成 31 年 4 月から条件をクリアできれば医師・医療従事者の勤務時間短縮に資する一定の設備について、特別償却をすることができます。この取組をご存じでしたか。(1つに○)

1. 知っており利用した
2. 知っており、利用を検討している
3. 知っているが、利用は検討していない
4. はじめて聞いた

問 34. 医療従事者の勤務環境改善の更なる推進方策等の検討に資するため、本アンケート調査の病院ごとの回答内容を医療勤務環境改善支援センターへ提供する予定となっておりますが、提供不可の場合は右の□にチェックをつけてください。なお、回答内容については労働基準監督署が行う監督指導等に使用されることは一切ありません。

以上でアンケート調査は終了です。ご協力ありがとうございました。

次のページは、モデル事業の案内です。

## 医療勤務環境改善モデル事業とは？

平成 26 年 10 月に施行された改正医療法では、医療機関の管理者は医療従事者の勤務環境の改善、その他の医療従事者の確保に資する措置を講ずるよう努めなければならないこととされました。国では、各医療機関が勤務環境改善に適切・有効に取り組めるよう、「医療勤務環境改善マネジメントシステムに関する指針」を定めるとともに、医療勤務環境改善マネジメントシステム（以下「マネジメントシステム」といいます。）を導入するための手引書を作成して、PDCA サイクルを通じた体系的・継続的な勤務環境改善の取組の促進を図っています。

本調査研究委託事業では、有床診療所においてもこれらの取組が進むよう検討するため、各都道府県の医療勤務環境改善支援センター（以下「支援センター」といいます。）との連携・協力の下、勤務環境改善に取り組んでいきたい、あるいは取組をより充実・強化していきたいとお考えの医療機関に対し、マネジメントシステムを活用した勤務環境改善の取組をお手伝い・支援するモデル事業を実施します。

モデル事業は、ご協力いただける医療機関（全国で 2 か所程度までを想定）に対して、以下により実施し、協力医療機関における取組の成果や課題等を確認するとともに、マネジメントシステムのよりよい活用方法について検証を行います。

実施内容は以下のとおりです。

<b>支援方法</b>	協力医療機関への訪問及び通信（メール、電話等）により、勤務環境改善やマネジメントシステムに関するアドバイスや情報提供を行います。また、取組の進捗状況や課題等について聴取します。
<b>支援時期</b>	1 協力医療機関につき本調査研究事業の受託者である(株)日本能率協会総合研究所のコンサルタントが 2～3 回程度訪問します。また、メール、電話等による連絡・支援を行うこともあります。この他、適宜、地元の支援センターの支援、相談等も活用します。 <スケジュールの目安：訪問時期等の詳細は個別にご相談します。> 初回支援・聴取：令和元年 10 月頃 中間支援・聴取：令和元年 12 月頃 最終支援・聴取：令和 2 年 2 月頃
<b>支援内容</b>	・マネジメントシステムの手引書等の必要資料の提供 ・マネジメントシステムの手引書や手引書所収の支援ツールの活用方法等についての相談、アドバイス ・他の医療機関における取組事例の紹介・情報提供 ・支援センター等関係機関との連絡調整等 ※ 本調査研究事業の検討に活用させていただくため、貴診療所の概況等の基礎情報、本モデル事業の実施を通じた勤務環境改善の取組の進捗状況や成果・課題等についてもお伺いさせていただきます。

参加をご検討いただける場合は、問 29 にご回答いただくとともに連絡先をご記入ください。

ありがとうございました。